



中部大学春日丘高校 SGH課題研究「世界の現状を知り考える学習」

—「教えられる」のではなく、自ら発見する力を養い、「気づき」を「行動」へとつなぐ—

アジアと日本～東南アジアが君たちを呼んでいる～

開催概要

- ◆ 日時: 2016年5月21日(土) 11:00～12:40
- ◆ 場所: 中部大学 55号館
- ◆ 参加者: 国際コースと啓明コース1年生 143人
- ◆ 講演者: 中部大学 国際関係学部 青木澄夫教授
- ◆ 第6回学習のねらい:

- ① 東南アジアの現状を知り関心を高める。
- ② 日本との関係性を知り、身近に感じる。
- ③ 開発途上国への偏見をなくし、今後の研究の基盤とする。

学習の流れと成果

※[]内は所要時間

■ 講演:「東南アジアが君たちを呼んでいる」 [60分]

「世界の現状を知り考える学習」を5回にわたりワークショップ形式で学んできた国際・啓明コースの1年生たちですが、広く「世界」に注目してきたところから、「東南アジア」に焦点をぼるため、本校SGH活動において強く連携させていただいている中部大学国際関係学部の青木澄夫教授にご講演いただきました。

青木教授はJICA(独立行政法人国際協力機構)タンザニア所長を務められた経験を持ち、現在も大学生を連れて世界でフィールドワークを行い続けている国際協力のスペシャリストです。このような教授のお話を高校1年生の時分から聞くことができ、すぐに質問できる距離にしてくださいことは、春日丘高校SGHの大きな特徴です。

青木教授のお話は「東南アジアが君たちを呼んでいる」というタイトルで始まりました。開発途上国というくりでみると「貧しそう」「遅れている」などのイメージを東南アジアに持ちがちですが、青木教授のスライドには高層ビルが立ち並び、美しく整備された道路、きらびやかなショッピングセンターの写真が映し出されていました。インドネシアの首都ジャカルタは、名古屋よりも高いビルが立ち並び驚くほどの都会でした。私たちは他国のことをあまり知らず、先入観を持ってしまいがちです。青木教授のお話を聞き、生徒たちはまず自分の持っている偏見に気づくことができました。

また、日本がインドネシアを中心とした東南アジアから多くのエネルギー源を輸入していることや、愛知県から1000以上の企業が進出していることを聞き、日本と東南アジアの関係がいかに深いものかということも教えていただきました。その影響もあり、インドネシアでは多くの日本語学習者がおり、日本のことを強く信頼してくれているそうです。それなのに、私たちは東南アジアのことを知りません。「あなたのことが好きなのに、私にまるで興味ない〜♪(恋するフォーチュンクッキー)」なのです。そこで私たちは偏見をなくし、身近で関係の深い東南ア



中部大学国際関係学部教授 青木澄夫 2016年5月21日



シティさんの母国マレーシアの首都クアラルンプール

 ツインタワー
452m

 名古屋で一番の高層ビル
ミッドランドスクウェア
247m

アジア諸国について学びを深めていく必要があることを感じました。

今回のお話では、「東南アジアの良いところ」を意識的に見せていただき、生徒は東南アジアを身近に感じることはできましたが、実際には東南アジアが抱える課題は数多くあり、良いところばかりではありません。青木先生は生徒たちに「偏見を持ち上から目線で研究を行うのではなく、ともに生きるアジアの仲間として、課題解決のために研究してほしい」というメッセージを伝えてくださいました。そして最後に、SGH課題研究を行う春日丘高校の生徒たちが、グローバル社会を担う人材として成長することに、大きな期待もいただきました。

■ わかったこと・もっと知りたくなったこと [30分]

講演後、生徒たちは個人で「自分が発見したこと、もっと知りたくなったこと」を書き出しました。その後グループに分かれ、もっと知りたいこと(質問)を相談し、いくつかの班が講師に質問しました。



Q1. インドネシアの農村地について知りたい。

A. みなさんが想像するような状況もあります。比べられないくらい貧しいです。調べてみてください。

Q2. なぜ日本は東南アジアの人々から信頼されているのですか？

A. 勤勉で真面目な人が多かったからかもしれません。しかし、今その印象が変わってきているのではないかと心配しています。

Q3. 東南アジアのイメージがあまり良くないのは、日本にアピールしていないからではないでしょうか？

A. 確かにそうかもしれません。しかし、日本は東南アジアの国々を侵略していた歴史があります。ひどいことをした側はおぼえていなくても、された側は忘れません。「忘れないけど、恨まない」東南アジアの人々の気持ちを忘れてはいけません。

Q4. 日本にはない変わった文化はありますか？

A. たくさんあると思います。しかし、わたしは現地に行くとその国の空気になじむようにしているので、何が変わっているかあまり気づきません。自分で体験してみてください。

Q5. 貧困問題について教えてください。

A. 今と昔では問題が違いますし、日本の貧困とも違います。これから先しっかり調べてください。



■ 全体ふりかえり [10分]

ふりかえりシートを記入した。

生徒の感想

☆気づいたこと・わかったこと・大切だと思ったこと

- ・東南アジアのイメージが変わりました。偏見はよくない。
- ・関心を持って、同じ目線で、リスペクトしあうことが大切。
- ・まずは興味を持つことが大切で、行動をしてたくさんの知識を身につけたいと思いました。無知が一番ダメ！

☆もっと研究したいと思ったこと

- ・東南アジアがさらに発展していくためにはどうすればいいか？
- ・ものすごい勢いで発展しているが、日本の経済成長期のように公害が発生するのは？
- ・どうして東南アジアの人々は日本を信頼しているのか？

☆その他

- ・普通の高校では知ることができないことをたくさん知ることができる貴重な機会をありがとうございました。
- ・フィールドワークが楽しみになりました！
- ・教授の話をもっと聞いてみたいです。